

県 広 報

とやま

特集/ 県政この一年

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



12

1996 No.335

 富山県

INTERVIEW

ひとアズとやま



事実は漫画よりも面白い!?

漫画家 藤谷みつるさん

「小学生の頃から長編漫画を描いていたんですよ」と語るのは、富山市内で風呂屋の番台に座るかたわら執筆活動を続ける漫画家、藤谷みつるさん。

藤谷さんが漫画に目覚めるきっかけとなったのは、少年漫画『がんばれ!元氣』との出会い。「とても感動して、自分でボクシングの漫画を描き始めました。でも、友達に見せたりはせずに、自分だけで楽しんでたんですよ」。高校卒業後に上京し、専門学校で漫画家コースで本格的に勉強を開始。その後、出版社に作品を持ち込んで認められ、見事デビューを果たします。「デビュー作は、恋愛ものでした。やはり、恋愛ものじゃないと少女漫画として受け入れられないところはありましたね」。そんなある日、実家の祖母が入院し、番台に座る人がいなくなったために帰郷。それがきっかけで、コメディ漫画『フロ屋のおきて』の連載を開始します。風呂屋の番台から見た光景が面白おかしく綴られているこの漫画の主人公は、もちろん藤谷さん自身。「話の半分くらいは実話に基づいています。登場人物も、近所の常連さんがモデルだったり…。でも、特定されないようにいろいろ味付けしているんですよ」。少女漫画雑誌『ブーケ』に連載され、好評を得て単行本化されたこの作品も第七巻をもって完了。「読者からやめないでほしいと手紙をもらったときは嬉しかったですね」。

さて、二児の母となった藤谷さんが現在連載中なのが、子育てを題材にした漫画『大人のおもちゃ箱』。やはり自らの体験がもともとなっていて、「子持ちの母親からの手紙が多くなりました。共感してくれているみたいですよ」。家事や育児、番台での仕事に執筆活動と、多忙な毎日を送っているにもかかわらず、「最近では、番台に座りながら描いているんですよ」と笑顔で語る藤谷さん。その表情は、彼女の底抜けに明るい作風を物語っているかのようでした。



▲ ところどころ飛び出す富山弁も楽しい『フロ屋のおきて』

12 CONTENTS

12月号もくじ

撮影 / 赤羽仁諭 (富山県写真家協会会員)	表紙
とやま遊学感 / 交通安全博物館 (セーフティ愛ランド)	表2
ひとアズとやま / 漫画家 藤谷みつるさん	1
特集 / 県政この一年	2
PINUPPTOYAMA / 写真 / 谷川昭夫 (富山県写真家協会会員) / 詩 / 山本哲也 (富山現代詩人会会員)	8
ふるさとみてある記 (新湊市)	10
① 奈古つ子グループ	11
② 富山新港臨海野鳥園	12
③ 新湊曳山協議会	13
エッセイ / 宮脇 廣 (「わたはく山」村長)	14
トピックス / 関西国際空港便就航 「NEWS」創刊	16
県からのお知らせ	17
人権週間のお知らせ	18
とやまの祭事記 / 大年の宮いもり (氷見市小境)	表3



▲ 自転車の安全な乗り方コーナー



▲ 何問答えられるかな? (交通安全パソコンゲーム)



▼ 標識がたくさんあって難しいですね (安全運転ゲーム)



楽しみながらセーフティ体験 —交通安全博物館(セーフティ愛ランド)—

レポーター: 今井順子さん (高岡法科大学)
(表紙の人)

二階フロアは、「富山県の雪と交通」がテーマ。かつての冬の富山市街地のパネルなどもあり、道路の雪対策が昔に比べ随分進んでいることを実感しました。また、冬期に使ういろいろなタイヤも展示。なかでも、常温で柔らかく低温になると固くなる新素材を利用したものに特に興味がありました。ただ、タイヤの性能が向上したとはいえ、一事故が増えるのはやはり冬場。皆さんもこれからの季節の運転には十分気をつけましょう。

交通安全博物館は、富山県運転教育センターの隣。運転免許更新の際にはぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。うか。

交通安全博物館 (セーフティ愛ランド)	
場 地	富山市高島62
休 館 日	月曜日、祝日、年末年始
入 館 料	無料
電 話	☎ 0764 (51) 9300



▲ タイヤの進歩はめざましいですね!



交通安全博物館

《特集》 県政この一年



▲大勢の人々が花と緑を満喫
(第13回全国都市緑化とやまフェア
4月20日～9月1日)

今や富山県は、住みよさ豊かさにおいて全国トップレベルの評価を受けています。今後はさらに、優れた自然や文化を守り育てながら、県民1人ひとりが住むことに誇りと自信を持ち、「住みよい県」から「住みたい県」にしていく必要があります。このため県では、「人材立県」、「生活立県」、「国際立県」の3つの立県構想を掲げ、着実に施策を推進しています。また、今年度から新富山県民総合計画の後期事業計画もスタートしました。ここでは、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の3大政策に沿ってこの1年を振り返ります。

明日を拓く人づくり

健康・福祉の増進



▲総合福祉会館(仮称)模型

福祉施策を総合的に推進し、福祉の充実を図るため、富山県民福祉条例を制定したほか、地域福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の実施設計に着手しました。高齢者福祉については、ねたきりや痴呆を防止するため、県民の行動プログラムを策定に取り組んだほか、新たに二十四時間対応のホームヘルプサービス事業や要介護高齢者ミドルステイ事業の活動に助成しました。

障害者の福祉については、障害者施策を総合的に推進するための計画の策定に取り組んだほか、在宅障害者デイケアモデル事業や身体障害者デイサービスセンターの設置に助成しました。また、精神障害者の社会復帰施設「ゆりの木の里」の整備に助成したほか、精神保健福祉センターの整備拡充に着手しました。このほか、精神保健施策を充実するため、「こころの健康プラン」の策定に取り組みました。子どもを生き育てやすい環境づくりについては、児



▲国際健康プラザ(仮称)イメージ図

童育成計画(県版エンゼルプラン)の策定に取り組んだほか、妊娠期から出産期までの一貫した高度専門医療の提供や保健指導の拠点として、県

立中央病院に母子医療センターを開設しました。健康づくりについては、新たに策定した糖尿病アタックプランや新がん攻略県民プランに基づき、総合的な対策を推進するとともに、とやま健康村として整備を進めてきた国際健康プラザ(仮称)については、健康づくりの中核拠点として実施設計に着手しました。

医療の確保については、富山赤十字病院の移転改築などに助成したほか、入院生活やすらぎ事業を創設し、病院生活を快適にするための事業を総合的に実施しました。

二〇〇〇年とやま国体については、シンボルマークを定め、たほか、西部総合体育館(仮称)やカヌー場などの実施設計に着手しました。

生涯学習の推進

生涯学習情報ネットワークシステムの二十四時間運用に向

け準備を進めました。学校教育については、とやま養護学校やふるさと養護学校に高等部を新設するなど障害者教育を充実したほか、新たに地域ぐるみいじめ防止事業を創設し、家庭、地域、学校が一体となったいじめ防止を図りました。

科学・文化の振興

県立大学に大学院博士課程および生物工学修士課程を開設したほか、奨学金貸与制度を改正し、新たに博士課程の大学院生を対象としました。

第十一回国民文化祭とやま'96については、全国から多くの参加者を迎え、特色ある事業を県内一円に展開しました。また、富山県民文化条例を制定したほか、文化ホールネットワーク事業を創設し、県民の芸術鑑賞の機会の充実や公立文化ホールの活性化を進めました。

世界遺産に登録された五箇山の合掌造り集落については、岐阜県および関係三村とともに飛越世界遺産保全会議を設置し、その保全と地域の振興に取り組みました。

若者と女性の力を社会に

みのり豊かな男女協同社会を実現するため、とやま女性総合センター(仮称)の整備を進めました。

二〇〇〇年 県民が燃えるプログラム事業については、県内の若手代表者からなる委員会における具体的なプログラムづくりを支援しました。また、青少年保護育成条例を改正し、青少年にとって健全な社会環境の保持に努めました。

長寿・余暇社会への対応

いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援したほか、平成八年八月八日のとやま笑いの日の集いを支援しました。また、余暇推進のためのボランティア組織富山発ゆとりすと倶楽部の設立を支援するなど、余暇対策を推進しました。



▲飛越世界遺産保全会議設立 (4月22日)



▲皇太子同妃両陛下ご来県 (9月28日～30日)



▲第11回国民文化祭とやま'96 (9月28日～10月7日)



▲とやま女性総合センター(仮称)完成予想図



▲富山発ゆとりすと倶楽部設立総会 (4月6日)



▲2000年とやま国体シンボルマーク

(魅力ある地域づくり)

快適な暮らしの実現

県の地域防災計画(震災編)の見直しを行ったほか、富山県防災フェスティバルを開催し、県民の防災意識の高揚を図りました。さらに、消防防災ヘリコプターの運用開始、警察本部に導入した高性能ヘリコプターへのテレビカメラ搭載など、航空防災体制を強化しました。

環境対策については、中小企業への環境施設の整備資金の貸付制度を拡充したほか、容器包装廃棄物のリサイクルを促進するため、分別収集促進計画を策定しました。また、トイレ文化の創造をめざす国際トイレシンポジウム'96を国内外から多数の参加者を得て開催しました。

魅力ある地域づくり

新川拠点都市地域基本計画を承認し、計画の円滑な推進を指導したほか、富山市大手町地区における国際会議場を中心とした複合型都市拠点施設の整備の計画を支援しました。

また、総合運動公園やカナルパークなど都市公園の整備を図ったほか、ふるさと環境整備事業を創設し、自然公園等の整備を進めるなど、全県域公園化構想を推進しました。百三十五日間にわたって開催された第十三回全国都市緑化とやまフェアでは、彩り豊かな花と緑の祭典が繰り広げられ、六会場で百九十一万人が来場しました。なお、全県域公園化構想の核となる中央植物園が、緑化フェアの開幕にあわせて全面開園しました。

県土の保全と活用

神通川左岸流域下水道や小矢部川流域下水道の建設を推進したほか、農村下水道の整備や合併処理浄化槽の普及を図るなど、全県域下水道化を進めました。

また、海のプラザ日本海ミュージアム構想の核となる日本海博物館(仮称)の基本計画策定に取り組んだほか、立山カルデラ砂防博物館(仮称)の建設に着工しました。

交通・情報通信体系の整備

北陸新幹線の石動・金沢間および糸魚川・魚津間の建設工事の促進を図りました。また、能越自動車道の小矢部砺波JCT・福岡IC間が開通したほか、東海北陸自動車道についても上平・福光間で工事が進められています。

富山空港については、函館便、関西国際空港便が相次いで就航したほか、駐車場を拡張し、利用者の利便を図りました。このほか、全国マルチメディア祭'96 in とやまを開催し、地域の情報化を促進しました。

国際化時代への対応

友好提携五周年を迎えるアメリカ・オレゴン州に高校生プラスバンドを派遣したほか、現地で日本語スピーチコンテストを実施するなど、両県州の交流を一層進めました。

また、韓国江原道、ロシア沿海地方から環境保全に関する調査団を受け入れるなど、環日本海地域における国際協力を推進しました。



▲立山カルデラ砂防博物館(仮称)完成予想図



▲能越自動車道(福岡IC~小矢部砺波JCT間)開通式(3月28日)



▲とやま国際トイレシンポジウム'96(10月9日~11日)



▲オレゴン州ローズフェスティバルへ高校生プラスバンドが出演(6月8日)



▲上空から見た現在の大手町地区



▲消防防災ヘリコプター就航式(4月3日)



▲富山県中央植物園全面開園(4月26日)

主なできごと

平成7年12月
平成8年11月

- 12月 3日 児童環境づくりシンポジウム
- 12月 5日 12月定例県議会(～19日)
- 12月 8日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン
- 12月11日 人口問題バーチャルシンポジウム(～25日)
- 1月 5日 みんなでつくろう'96展(～2月4日)
- 1月 7日 富山県市町村会館竣工式
- 1月11日 彩りとやま緑化祭'96開幕100日前イベント
- 1月19日 東京ドームふるさとフェア'96(～21日)
- 1月23日 第11回イメージディレクター懇談会
- 2月 3日 「北方領土の日」記念事業
- 2月10日 第6回花と緑のフェスティバル(～12日)
- 2月17日 らいちょうバレー雪の祭典(～18日)
- 2月25日 人口問題シンポジウム
- 2月26日 富山県国際交流センターオープニング式典
- 2月29日 2月定例県議会(～3月25日)
- 3月 2日 青年海外協力隊サミットとやま'96
- 3月20日 200X年県民が燃えるプログラム提案募集最終審査会及び顕彰式
- 3月28日 能越自動車道(福岡IC～小矢部砺波JCT間)開通式
- 3月31日 TOYAMA NOW in 原宿'96(～4月3日)
- 4月 3日 消防防災ヘリコプター就航式
- 4月 5日 黒部職業能力開発センター竣工式
- 4月 6日 いきいき富山観光キャンペーン・オープニングフェスティバル
富山発ゆとりすと倶楽部設立総会
- 4月15日 知事のまちなまり(富山市～16日)
- 4月19日 富山一日地方分権委員会
- 4月20日 第13回全国都市緑化とやまフェア開幕(～9月1日)
- 4月22日 白川郷・五箇山合掌造り集落世界遺産登録記念式典 記念碑除幕式
- 4月24日 立山カルデラ砂防博物館(仮称)着工式
- 4月25日 全国花のまちづくりシンポジウム富山大会
- 4月26日 富山県中央植物園全面開園
- 4月29日 銀座みゆき通り「チューリップカーペット」
- 5月 7日 春の叙勲伝達式
- 5月 8日 北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会
- 5月10日 第47回富山県植樹祭
- 5月20日 とやま賞授賞式
- 5月22日 平成8年度富山県青年・女性海外派遣事業結団社行式
- 5月30日 平成8年度消費者月間記念富山県大会
- 6月 6日 第1回黒部ルート見学会
高岡オフィスパーク起工式
- 6月11日 たくましく魅力あるとやまの農業推進大会
- 6月17日 6月定例県議会(～28日)

(活力ある産業づくり)

新世紀への産業展開

高岡市において企業の事務所等が立地する業務拠点地区(オフィス・アルカディア)の整備を促進したほか、八尾中核工業団地の拡張工事が完了し、分譲が開始されました。また、中小企業の特許情報を有効に活用できるよう、工業技術センターにおいて知的所有権センターの整備を進めたほか、生活工学研究所(仮称)の整備に着手しました。富山湾の深層水については、サクラマス等の増養殖の研究に成果を上げたほか、新たに非水産分野における利用について、共同研究を開始しました。

農林水産業の振興

本県農業の指針である「二十一世紀をめざす富山県農業の展開—アグリピア21」を改訂したほか、農業改良普及センターを再編整備し、専門指導や企画機能の強化を図りました。水田営農については、「とも補償制度」を推進したほか、集落営農組織や中核農家集団の育成や農協等による農作業受託センターの設置に対し支援しました。畜産については、畜産試験場の移転改築を進めたほか、高能力乳用牛の受胎卵の供給体制整備に取り組みました。このほか、県のさかなを選定し、本県水産業のイメージアップを図りました。

工業、商業サービス業の振興

いわゆる新分野進出等円滑化法に基づく支援措置や、創造

的事業活動を行うベンチャー企業に対する投資支援制度等の活用により、中小企業の新分野への進出や新産業の創出を支援しました。

また、魅力ある商店街づくりを推進するため、街路灯などの商業基盤施設等の整備に助成したほか、空き店舗を活用するモデル事業に支援しました。また、J Rグループによる全国的な誘客宣伝キャンペーン(ディスティネーション・キャンペーン)を活用するなど、観光と物産の宣伝活動を積極的に展開しました。

雇用と勤労者福祉

県シルバー人材センター協会の組織と事業を強化し、センターを設置していない町村での事業展開を支援しました。また、黒部職業能力開発センターを移転改築したほか、認定職業能力開発校の整備に支援するなど、職業能力の開発に努めました。

このほか、育児・介護休業法の普及開発や事業所内保育施設の設定・運営支援、勤労者総合福祉センターの整備支援など、勤労者福祉の増進に努めました。



▲高岡オフィスパーク起工式(6月6日)



▲黒部職業能力開発センター竣工(4月5日)



▲深層水を利用したサクラマス増養殖研究(水産試験場)



▲富山県農業の指針「改訂アグリピア21」



▲ディスティネーション・キャンペーンのポスター

施策の実現のために

十月の富山県知事選挙で、県民の圧倒的支持のもと中沖知事が五選を果たし、「住みよい県」から「住みたい県」への発展を目指して五期目の中沖県政がスタートしました。

新県民総合計画については、平成八年度から十二年度までの後期事業計画を策定。今後、この計画に基づき、計画県政の推進を図っていきます。

イメージアップについては、県外で活躍する本県ゆかりの人たちにより、とやまファン倶楽部が設置され、今後、多様な情報交流を通じ、会員のネットワーク化を図っていきます。また、県総合紹介誌「あいの風」の発行や首都圏等でFM放送による魅力的な「富山の音」の発信など、イメージアップを図りました。さらに、各世帯配布広報紙「あいの風だより」の発行をはじめ、「県民相談ほっとライン」の発刊、ハローネットとやまを活用した公聴会など、幅広い広報公聴活動を行いました。組織機構については、十一の農業改良普及センターを四センター、三支所に再編したほか、富山市への保健所業務の移譲により富山保健所を廃止しました。また、消防防災ヘリコプターの運行管理のため防災航空センターを設置したほか、県立中央病院に母子医療センターを設置しました。このほか、中核市指定にともなう富山市への権限移譲や、住民生活に密接に関連した事務の市町村への権限移譲など、地方集権を推進しました。



▶中沖知事初登庁



▲富山県総合紹介誌「あいの風」



▶「とやまファン倶楽部」発足(7月29日)

主なできごと
平成7年12月
平成8年11月

- 7月5日 富山一函館便初便出発式
- 7月9日 「とやま名誉大使」称号授与式
- 7月10日 富山赤十字病院竣工式
- 7月11日 秋篠宮同妃両殿下ご来県(～12日)
- 7月12日 第13回全国都市緑化とやまフェア・メイン会場オープン
- 7月26日 冒険子ども王国
- 7月29日 「とやまファン倶楽部」発足
- 8月8日 精神障害者社会復帰モデル施設「ゆりの木の里」起工式
とやま笑いの日の集い
- 8月9日 野生生物フィルムツアー in とやま(～11日、24日・25日)
- 8月14日 第3回Uターンフェア・イン・とやま
- 8月24日 第14回北方領土返還要求富山県大会
- 8月25日 富山県防災フェスティバル
- 9月1日 第13回全国都市緑化とやまフェア閉会式
- 9月3日 平成8年度富山県総合防災訓練
- 9月5日 富山県がん攻略シンポジウム
- 9月10日 9月定例県議会(～26日)
- 9月26日 富山県・オレゴン州友好提携5周年記念レセプション
- 9月28日 第11回国民文化祭とやま'96(～10月7日)
皇太子同妃両殿下ご来県(～30日)
- 10月1日 富山一関空便初便出発式
母子医療センター開設式
- 10月7日 第11回国民文化祭とやま'96閉会式
- 10月9日 とやま国際トレシンボジウム'96(～11日)
- 10月12日 第13回特産王国とやまフェスティバル
- 10月13日 '96とやまりサイクルフェア(～13日)
- 10月15日 富山県一斉公開建築パトロール
第12回富山県樹祭
高齢者雇用促進大会
- 10月17日 とやまテクノフェア'96(～20日)
- 10月20日 衆議院議員総選挙
富山県知事選挙
- 10月31日 デザインウェブ'96 in 富山(～11月4日)
- 11月5日 平成8年秋の叙勲伝達式
富山県公共交通活性化シンポジウム
- 11月6日 富山県糖尿病シンポジウム
- 11月7日 全国マルチメディア祭'96 in とやま(～10日)
- 11月8日 富山くすりフェア(～10日 鹿児島県)
- 11月9日 中沖県政5期目スタート
- 11月12日 第67回中部圏知事会議
- 11月16日 ゆとりの日発見シンポジウム
- 11月18日 21世紀の子どもと家庭国際シンポジウム
- 11月20日 こころの健康フェスティバル
—平成8年度富山県精神保健福祉大会
日本パッケージデザイン展'96とやま(～24日)
- 11月21日 地域づくり全国交流会議高岡大会(～22日)

PIN UP
TOYAMA
ピンナップとやま

撮影/谷川昭夫 詩/山本哲也
写真プレゼントについては 16 ページ参照

どんな眼まなこが与えられたら
見えるのだろうか
朝霧が隠しているものを

樹肌を滑り落ちる 無数の蟻
さえずりをやめた 小鳥たち
ねぐらに隠れた 爬虫類
葉という葉を沈めさせた 星星

あるいは 聞こえるはずもない
あの なつかしい音までも
紅葉していく ざわめきを
流れていた 植物細胞の鼓動を

けざけざと 清澄に
立ちこめる朝霧のなかに

新湊市

◎新湊市の概要

環日本海貿易の要所である富山新港は、特定重要港湾「伏木富山港」の一翼をなっており、アルミ・木材等の企業が立地する臨海工業港となっている。その一方で、漁師町の風情を残す内川の風景をはじめ、江戸文化の彩りを伝える秋の曳山祭りなど、昔ながらの情緒や活気も大切に受け継がれている。



▲久々江とみ子さん

奈古っ子グループ

「相手に楽しんでもらうことは自分も楽しい」をモットーに活動しています」と、グループ長の久々江とみ子さん。市のボランティア講座でレクリエーション活動を受講したことがきっかけで結成されたこのグループは、同世代の主婦八名からなる。グループの名称は、大伴家持が深く愛し、万葉集にも登場する「奈古の浦」をもじったもの。「催し物の内容や参加者の世代にあわせて遊びを考えています。どれも評判がいいんですよ」。

参加者の笑顔が活動の源



▲歌に合わせてリズムをとろう

んの少し工夫を加えることで、より楽しいものに生まれ変わらせているのである。「ジャンケンに自己紹介とメダルの争奪を組み合わせただけでも、とても夢中になれるんですよ。また、その場にいる人たちとスキンシップが図れる遊びも人気がありますね」と久々江さんは目を細める。自分たちが楽しくやることが相手に伝わり、笑顔につながる。この笑顔こそが、奈古っ子グループの活動の源なのである。

人口 / 38,235人
面積 / 31.28km²
(平成8年10月1日現在)



▲肌のぬくもりが伝わるね

野鳥の園を覗いてみませんか？

富山新港臨海野鳥園



▲西中 寿さん

富山新港西埋立地内に十一月一日、「富山新港臨海野鳥園」が開園した。「園全体が、野鳥にとって過ごしやすい環境になっているんですよ」と富山新港管理局の西中寿さん。東京ドームがすっぽり入る広大な敷地内には、人工池や樹林地などが造成されている。「人工池には、水かさを調節するための海水くみ上げポンプが備えてあります。また、池のなかに島をつくるなど、鳥が巣作りしやすいように配慮されています」。

さて、園内には、望遠鏡を備えた観察センターをはじめ、観察小屋や観察壁が点在し、その窓からはのびのびと息する野鳥たちの姿を目の当たりにできる。また、観察センターには、望遠鏡で見た鳥をその場で調べられるように図鑑なども用意されている。「観察する方が身を隠すところが、動物園とは違います。あくまで野鳥が自由気ままに行動できることが重要なんです」と西中さん。将来的には、年間八十種類ほどの飛来を予想しているそうだ。



▲観察センター内には望遠鏡を設置

野鳥を観ることで自然への愛情を育み、環境学習の実践の場となっている野鳥園。野鳥にとっては、「楽園」ともいえるのである。

● 休園日：毎週月曜日、国民の祝日・休日の翌日
● 開園時間：午前9時～午後4時(季節により異なる)
● 問合せ：0766・84・8292



▲野鳥が過ごしやすいたたえる塩水の汽水池

伝統を守りながらも新たな息吹を

新湊曳山協議会



江戸の粋を今に伝える絢爛豪華な放生津曳山祭。毎年十月一日、十三本の曳山は、昼は花山車、夜は提灯山車と趣を変え、潮騒の町を練り回る。この祭を裏で支えるのが、新湊曳山協議会である。

「コースの設定やタイムスケジュールの作成など、祭りに関することは全て行っています。今年も無事に終わってホッとしていますね」と協議会事務局次長の中野剛さん。毎年四月頃から話し合いを持ちながら準備を進めていく。今年も新湊商店街の新装を記念して、同商店街をコースに加えた。また、昨年は国道415号線沿いに曳山を並べ、観光客に披露したという。「今までは自分たちのための祭りという意識がありましたが、最近は観光面にも力を注いでいく必要性を感じています」と中野さん。歴史の遺産をいつ



▲曳山巡行の順番を決めるくじ取り式



▲中野 剛さん

も見学できるように、曳山会館建設の要望書を市に提出したのもそのあらわれだ。また、若者の意見も積極的に取り入れていきたいという。「昔は、女性が曳山に触ることも許されませんでした。でも、時代が変わった今、女性が曳山を練り回すのも楽しいかもしれませんね」と笑う中野さん。これからは三百年の伝統を守りつつ、新たな試みで祭りを盛り上げていってほしいことだろう。

(旅に、ビジネスに、世界が近くなる。)

富山ー関西国際空港便就航

平成8年10月1日より、富山空港において6番目の国内路線として、富山ー関西国際空港便が開通されました。当路線の開通で、富山は東京、大阪、名古屋の3大都市圏とダイレクトに結ばれることとなり、今後、商工業、観光、文化等幅広い分野での、人、モノ、情報の交流が促進され、地域間交流にいつそう弾みがつくものと期待されます。また、航空機の乗り継ぎにより、国際ハブ空港である関西国際空港から海外へ出国することが可能となり、海外旅行などにも便利になりました。

富山ー関西国際空港便の概要

- (1) 運航会社 全日本空輸 (株)
- (2) 運航便数 1日1往復
- (3) 運航ダイヤ (12月1日～12月20日)
 関空発 8:30 - 849便 - 9:30 富山着
 (所要時間1時間)
 富山発 10:05 - 850便 - 11:20 関空着
 (所要時間1時間15分)
- (4) 運航機材 エアバスA320型機 (166席)



問合せ 県庁航空対策室 ☎0764-44-3463

人は考えるクイである。

富山県政策情報誌【でるくい】発刊

でるくい体験しましたか!?

叩かれても、踏まれても、くじけない、ひるまない。そんな「でるくい」精神を大切にした富山県政策情報誌、その名も【でるくい】創刊号を発刊しました。この冊子は、情報の共有と活発な議論を通じて富山県職員の政策形成能力の向上を図ろうとするもので、政策に対する提言、県政の最前線での取り組み、研究成果の紹介など、これまでの情報誌とは一味違うホットな内容が並びます。

なかでも「特集」は、読みごたえ十分。創刊号の特集の一つ「水」では、水との闘いや砂防事業、雪対策、環境保全、深層水利用など水と富山県の関わりを、各セクションのエキスパートたちが今後の展望を交えながら熱く論じています。

一人ひとりが熱くなれば、富山県そして地方行政がもっと熱くなれる。【でるくい】は、県内主要書店にて定価750円で発売中です。次号は来年2月発行予定です。

問合せ 県庁計画課 ☎0764-44-4561



ESSAY

五箇山の「すぎお」という戸数十戸の小さな集落で夏休みに子どもたちを集めて、自然のなかで思いっきり遊ばせようと「わんぱく山」が始まった。今年の夏は猛暑のなか、子どもたちは汗だくになりながら、山小屋作り、川遊び、木工工作、ドラムかん風呂などいろいろな遊びに挑戦した。

「わんぱく山」の拠点は、休校になった木造校舎(旧東中江小学校杉尾分校)。そこから子どもたちは、スタッフのお兄さんお姉さんに連れられて山や谷川などの遊び場所に向かった。

山小屋作りでは、日陰もないため、子どもたちはのど

わんぱく山の おいし〜いお話し

「わんぱく山」村長 宮脇 廣



が渴きぐったりして、作業がなかなかかからない。わたしが、炊事係の沸かしてくれた麦茶を運んでいくと、コップ一杯飲み干し、口々に「おいし〜い」、「あ〜おいしかった」と満足そうな顔をして再び小屋作りに戻っていった。子どもたちは小遣い銭を持って来ているが、残念ながらすぎおの集落には店屋も自動販売機もなく、麦茶が最高の飲み物となった。

お昼は谷川で魚のつかみ取りに挑戦である。水の中に入ると子どもたちは今までの暑さも忘れ、岩魚のつかみ取りに夢中になったが、簡単にはつかまされず、悪戦苦闘していた。そうするうちに一匹、二匹、こつが分かったのか、次から次へと魚が川からあがってくるようになった。お昼ごはんは、つかまえた魚の塩焼きと、きなこ取りしたおにぎりをほうの木の葉っぱにくるんだ特製ほう葉おにぎり二個だけである。しかし、自らつかまえた魚をほおぼるその表情は、いきいきとしていた。



川で思う存分遊んだ後は、分校に帰って夕食のバザーの準備に取りかかる。バザーはカレー、たこ焼き、串焼、お好み焼きなど豪華なメニューで、班ごとの模擬店形式で行われる。おなかをすかせた子どもたちは、何を食べても「おいしい...おいしい」の連発で腹いっぱい食べていた。

分校の外には、真っ二つに割った青竹をいにして冷たい湧水が流してある。次の日の昼食は暑さを少しでも和らげようと、これを利用した流しそうめんである。流れてくるそうめんを箸で上手につかむことができる子どもだけが腹いっぱい食べられるサバイバルゲームとなった。数人の子どもは「もう腹らん...」とおなかをさすっていた。

わんぱく山で味わった「おいし〜い」体験。子どもたちは、普段の生活の中では味わえないような真のおいしさを知ったに違いない。

県からのお知らせ

募集

あなたの声を県政に！県政モニター募集

県では、県政に対するご意見やご要望を、広く県民の皆さんからお聞きするため、県政モニターを募集しています。

県政に対するアンケートに回答していただくほか、県政全般にわたって、建設的な意見・要望等を随時提言していただきます。

募集締切 平成9年1月31日(当日消印有効)
募集人員 50名

任期 2年間(平成9年4月から)

応募資格 県内に居住する満20歳以上で、県政に関心をお持ちの方(パソコン通信ができる方はその旨明記)。ただし、公職選挙法による公職者、公務員及び過去2年以内に県政モニターであった方は除きます。

応募方法 はがきに左の記入例の要領でご応募ください。問合せ 県庁広報課 ☎0764-44-3133

(記入例)

郵便はがき	930-80
富山県庁	企画部広報課
住 所	行
ふりがな	
氏 名	
生年月日	
電話番号	

- 県政モニターに応募します
- 1 職業区分・勤務先
 - 2 各種モニター経験の有無及びパソコン通信の可否
 - 3 県政モニター応募の抱負(50字程度)
- 〈職業区分〉①農林・漁業 ②建設・製造業 ③サービス・自由業 ④主婦 ⑤無職

富山県立保育専門学院平成9年度学生募集

富山県立保育専門学院では平成9年度の学生を募集します。本学院は40年の歴史をもつ保母の専門養成施設です。募集要項は次のとおりです。

募集期間 平成9年1月6日(月)～1月16日(木)
試験日 平成9年1月30日(木)、31日(金)
募集定員 60名

試験科目 国語Ⅰ、Ⅱ(漢文を含まない)
英語Ⅰ、Ⅱ(ヒアリングを含まない)
リズム運動、面接

提出書類 入学願書、調査書
願書請求 郵送で請求する場合は、「入学願書請求」と朱書のうえ、返信用切手190円を同封し、本学院に申し込んで下さい。

申込み・問合せ 富山県立保育専門学院入試事務局
〒933 富山県高岡市中山上町5番1号
☎0766-22-3787

富山県視覚自作教材コンクール作品募集

生涯学習や学校教育の場で広く活用できるビデオやスライドなどの視覚自作教材を募集します。作品のテーマは富山県の自然や歴史、文化、教育などに関するものです。

募集期間 12月2日(月)～28日(土)
部 門 ①生涯学習・社会教育 ②学校教育 ③記録
作品時間 20分以内
応募・問合せ 〒930 富山県舟橋北町7-1
富山県生涯学習カレッジ映像センター
☎0764-32-6420

お知らせ

児童育成計画についての県民から意見を聴く会開催

県では本年度、児童育成計画、いわゆる県版エンゼルプラン

啓発

「守ろう交通ルール・高めよう交通マナー」

飲酒の機会が増える年末の交通事故や降(積)雪等による交通事故を防止するため、北陸三県統一「年末の交通安全県民運動」が実施されます。

県民一人ひとりが交通安全意識を高め、交通ルールとマナーの実践を習慣づけましょう。
スローガン「ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路」
期 間 12月11日(水)～12月20日(金)の10日間
重 点 1. 高齢者の交通事故防止
2. 飲酒・暴走運転の防止
3. シートベルト着用の徹底

12月は納税強調月間です

そろそろ年の瀬も迫ってきましたが、納め忘れの税金がありましたら、お手元の納税通知書や納付書をお持ちになり、近くの金融機関または県税事務所ですぐに納めてください。

12月28日から1月5日まで県税事務所の窓口業務は休業させていただきます。年末に納められる方は金融機関を

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪 1-7 (県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民相談電話)
FAX 44-3300(県民相談ファックス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父 211 (総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿 10-7 (総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町 1-7 (総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市安住町 7-18 安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町 7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館 1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談 110 番
家庭問題・悪質商法・覚えい剽など、どんな相談にも応じます。☎(0764)42-0110
- シルバー 110 番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町 5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM7:00～7:15 「ふるさとトーク」
 - 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」
 - 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」
12/1 Do sports!
12/8 21世紀への農林水産研究
12/15 冬の富山を楽しもう!
12/22 我がまちふるさと自慢 ~砺波市~
12/29 県政、この一年
 - ラジオ放送
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでお届けします。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
 - 新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成9年 1月 街頭献血日程

日 曜日	献血場所	時 間
5 日	北陸ジャスコ高岡店前	10:00～16:00
7 火	富山市役所前	9:00～16:00
8 水	高岡市役所前	9:30～16:00
	砺波市役所前	9:30～16:00
9 木	小矢部市役所前	10:00～16:00
12 日	魚津サンプラザ前	10:00～16:00
15 水	富山西武前	10:00～16:00
24 金	魚津市役所前	12:30～16:00
31 金	宇奈月町役場前	12:30～16:00

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
○マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30
○マリエ献血ルーム(TEL0764-45-4500)
血液センター(TEL0764-51-5555)

富山県中央植物園 日曜植物案内のお知らせ

富山県中央植物園では、毎月1回、園内で見られる植物を解説する日曜植物案内を行っています。12月から3月の予定は次のとおりです。

日 時	テーマ
12月8日(日) 午前11時～12時	熱帯の花木
1月12日(日) 〃	熱帯の有植物
2月2日(日) 〃	熱帯のくだもの
3月16日(日) 〃	ランのいろいろ

申込み 当日園内で受付(事前申込不要)
参加費 入園料(大人600円 小人300円)が必要
問合せ 富山県中央植物園
☎0764-66-4187

県民カレッジテレビ放送講座 「川と生きる—富山の川魚漁—」

人間と川の始原的関係を示す川魚漁の取材映像の番組視聴およびスクリーニングを通じ、その漁法の中に生きる歴史や文化、生活史等を学びます。
番組視聴 北日本放送テレビ(KNB)
平成9年1月18日(土)～3月8日(土)
毎週土曜日 午前10時～10時30分(8回)
ご利用ください。

年末年始の犯罪と事故の防止を

年末年始は、例年犯罪や事故が多発します。このため、警察と防犯協会では、12月20日から来年1月15日まで「年末年始の犯罪と事故の防止」を目的に、さまざまな活動を展開します。

犯罪や事故のない安全で安心できる街づくりには、地域の皆さんの自主的な取り組みが重要です。防犯協会や防犯連絡所が推進する安全な地域づくり活動にぜひご参加下さい。

雪崩にご注意下さい

12月1日から7日までは雪崩防災週間です。現在、富山県には、山沿いを中心に711箇所(箇所)の雪崩危険箇所があります。雪崩災害は1月から2月にかけて最も多く発生しています。

- 次のようなときには、雪崩が発生しやすいので特に注意しましょう。
1. 気温が低いとき、既にかなりの積雪の上に、短期間に多量の積雪があったとき
 2. 春先、降雨後やフェーン現象等で気温が上昇したとき
 3. 斜面上の積雪面に亀裂が発生しているとき
- 問合せ 県庁砂防課 ☎0764-44-3343

差別のない明るい社会を

12月4日から10日までは人権週間です

- 子どもの人権を守ろう
- 国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう
- 部落差別をなくそう
- 女性の地位を高めよう
- 障害者の完全参加と平等を実現しよう
- 高齢者の住みやすい社会を築こう

編集後記

★漫画「フロ屋のおきて」には、楽しいキャラクターが登場する。お見合い話を持ってくるおばさんやユニークファッションのお兄さん、服を脱ぎ散らかすおじいさん etc...。かつて銭湯は絶好のコミュニケーションの場だった。そんな銭湯自体が少なくなっただけで、藤谷さんの座る「朝日湯」の番台のまわりには、いつも楽しそうな笑い声が響いているに違いない。(K)

★いよいよ師走。氷見市小境では、子どもたちが純真無垢な存在として初詣客を迎えるという。自分にもそんな時期があったのだから、新年を迎えるにあたり今一度、心を、「純真無垢」に戻したいものだ。さて今月号を最後に広報誌から離れる私。取材に協力してくださった方々、本当にありがとうございました。(A)

★来月号より「ふるさととみである記」から「とやまの祭り記」に担当が変わる。今まで七つの市町村を取材し、いろいろ興味深いお話を伺うことができた。また、初めて経験することばかりで、自分にとって何よりも忘れることのできないものとなった。取材に協力してくださった皆様方、本当にありがとうございました。(A)

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。」(世界人権宣言第一条より)

「世界人権宣言」は昭和二十三年十二月十日に国連で採決されましたが、これを記念して国連はこの日を「人権デー」と決めました。

我が国では、この人権デーを最終日とする一週間(十二月四日から十日まで)を「人権週間」として、人権意識の高揚を図る啓発運動が全国的に広く展開されています。

私たちもこの機会に、人権の尊さについて考えてみましょう。

人権とは、誰からも奪われることのない権利です。



花あなたの心に人権の花を

人間として生まれきたら、誰もが持っている権利、人間らしく生きていくための権利なのです。

差別をすることは、人権を侵害すること。あなたの人権が守られるためには、あなた自身が他の人の人権を保障しなければなりません。そして、お互いの人権が共存するところに住みよい社会が生まれます。

迷信と同じように、正しく知る前に、かたよった考え方(偏見)により、とる態度を決めてしまうことで人権を侵害してはいませんか？

相手の気持ち、見えますか？

ほんの少し、見方を変えるだけで、同じように喜び、悲しみ、そして、理解しあえる仲間だと気がつくきます。

純粋な子どもたちの心に偏見をきざみつけるのは両親や家族の言葉やふるまいであることが多いのです。

そして、子どもの心から偏見をぬぐいさり、命の尊さと人間としての誇りを持たせることができるのも、両親や家族なのです。

私たち一人ひとりが、一人の人間として尊重され、また、誰もが差別されることなく平等の権利が保障され、自由で生きがいのある生活ができる社会の実現に向けて、引き続き差別をなくす努力を続けていきましょう。

神社に籠こもって

初詣客を迎える

大年の宮ごもり (氷見市小境)

氷見市小境には大晦日から元旦にかけて、地区の子どもたちが神社にこもり一夜を明かす風習が今も残っている。純真無垢な存在としての子どもたちが、神の代わりとなって初詣客を迎えるのである。

年も押し詰まる頃、子どもたちは社殿や境内の清掃を始める。また、地区の家々を回り、もち米や金銭などを集め、神前への供え物や夜明しに必要なものを揃えていく。寒風が吹きつける海辺の集落に「供え物の銭くだっしやい」という元気な声が響く。

大晦日、その年最後の日が沈む頃、子どもたちは布団を持って、地区の北側の夕日神社と、南側の朝日神社へと分かれていく。冷えきった社殿の中、火鉢で暖をとりながら、鏡餅を祭壇に供えるなどして最後の支度を整える。夜になると両方の神社にこもる子どもたちが「へいば(歳暮)にきた」といって互いの神社を歩き来す。用意した雑煮やおやつを食べながら、自分たちだけの楽しいひとときを過ごす子どもたち。いつしか年が明けるときを過ぎ、初詣に訪れると御神酒をさし出し、一同正座して参詣客と新年のあいさつを交わすのである。

祈願のため神社にこもる「宮ごもり」の風習は、かつて県内でいくつも見られたが、今ではここ氷見市小境のみといわれる。

やがて辺りが白み始めるころ、神の代わりという大役を終えた子どもたちは、新年の朝日に包まれながら家路につく。

とやまの祭り記

十一月





立山山麓スキー場オープニングフェスティバル
 12月15日(日) らいちょうバレースキー場
 佐々成政行列によるデモンストレーションなどのアトラクション
 が楽しい。午後からは立山山麓各スキー場のリフトを無料解放。
 問合せ 立山山麓スキー場協議会 ☎0764(44)2137



宇奈月温泉雪のカーニバル
 2月1日(土)
 宇奈月温泉街・宇奈月温泉スキー場
 雪上花火大会やたいまつ滑降、雪像コンク
 ルなど、温泉街は雪と炎の祭典で盛り上がる。
 問合せ 宇奈月温泉観光協会
 ☎0765(62)1515

TOYAMAの冬を ホットに遊ぼう!

富山の冬は、あったか～いイベントや
 おいしいお祭りがいっぱいです。
 白銀のゲレンデに遊ぶもよし、おいし
 い海の幸を味わうもよし、楽しみ方もい
 ろいろ。さあ、冬をホットに遊んで、い
 ろんな富山を発見しましょう。

日本海高岡なべ祭り

1月18日(土)・19日(日)

高岡テクノドーム

富山湾のキトキトの魚介類をふんだんに
 使ったなべ料理に舌鼓。

問合せ 日本海高岡なべ祭り実行委員会

☎0766(20)1547



ツインクルナイト in 小杉

12月16日(月)～2月15日(土)

下条川周辺・小杉駅前商店街ほか
 みこしのオブジェやイルミブリッジなどが、冬の夜空を美しく彩る。
 問合せ ツインクルナイト in 小杉実行委員会
 ☎0766(56)1511

その他の イベント

とやまスノーピアード'97	12/2 (月)～2/28 (金)	富山市城址公園ほか	問合せ ☎0764(23)1111
牛岳スノーフェスタ'97	2/1 (土)	牛岳温泉スキー場	☎0764(57)2111
いなみ愛フェス	2/7 (金)～9 (日)	いなみ木彫りの里	☎0764(82)5757
らいちょうバレー雪の祭典	2/15 (土)・16 (日)	らいちょうバレースキー場	☎0764(44)2137
利賀そば祭り	2/21 (金)～23 (日)	国際キャンプ場周辺	☎0763(68)2111
庄川もちもち遊楽	2/22 (土)・23 (日)	庄川町水記念公園	☎0763(82)4316